

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																									
大阪ウェディングアンドブライダル専門学校	平成24年3月22日	徳 幸道	〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-8-32 (電話) 06-7656-0267																									
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																									
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	屋間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-16 (電話) 03-3814-9641																									
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																								
文化・教養	文化教養専門課程	ブライダルヘアメイクアンドドレス科	平成25年文部科学省告示第2号	-																								
学科の目的	「世の中の困難を希望に変わる」をミッションとし、学校教育法に基づき、ヘアメイクまたはドレス業界に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授しヘアメイク・ドレススタイリストとして活躍し、明日のブライダル業界を担う人材を養成することを目的とする。																											
認定年月日	平成31年3月5日																											
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																						
2	1742時間	476時間	1489時間	80時間	0時間	162時間																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
262人	184人	0人	21人	14人	35人																							
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価は5点法。評価方法は期末試験という形態ではなく、授業内評価																								
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月21日～4月10日		卒業・進級条件	所定の修業年限以上在籍し、所定の単位時間数の単位を修得した者について卒業認定。 科目の認定基準は、学年評定2以上、3分の2以上の出席																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡、三者面談、校内スクールカウンセリング		課外活動	■課外活動の種類 海外研修、ボランティア活動、学校行事実行委員会等																								
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 結婚式場、ドレスショップ、ブライダルヘアメイクサロン、ホテル等		主な学修成果(資格・検定等)※3	■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																								
	<table border="1"> <tr> <td>資格・検定名</td> <td>種</td> <td>受験者数</td> <td>合格者数</td> </tr> <tr> <td>ブライダルメイクアップ検定</td> <td>③</td> <td>92</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>92</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター</td> <td>③</td> <td>91</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>JNAジェルネイル技能検定試験初級</td> <td>③</td> <td>92</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>ブライダルフラワーアレンジメント</td> <td>③</td> <td>92</td> <td>92</td> </tr> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ブライダルメイクアップ検定	③	92	64	認定ドレスコーディネーター	③	92	91	アシスタントブライダルコーディネーター	③	91	72	JNAジェルネイル技能検定試験初級	③	92	69	ブライダルフラワーアレンジメント	③	92	92	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																									
ブライダルメイクアップ検定	③	92	64																									
認定ドレスコーディネーター	③	92	91																									
アシスタントブライダルコーディネーター	③	91	72																									
JNAジェルネイル技能検定試験初級	③	92	69																									
ブライダルフラワーアレンジメント	③	92	92																									
中途退学の現状	■中途退学者 15名 平成29年4月1日時点において、在学者193名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者178名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 目的喪失、進路変更、経済的事情		■中退率 8% ■中退防止・中退者支援のための取組 担任・役職者との面談、校内カウンセリング、保護者との連携及び三者面談等																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																											
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																											
当該学科のホームページURL	http://www.sanko.ac.jp/osaka-bridal/																											

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、資金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行ない、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。

委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や 授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

またより正確に飲食業界における動向や求められる人材要件を把握するため、生徒の就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を高め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

実習先である飲食店に対し、アンケート等を実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。

これらのことによって得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置付けている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

教育課程編成委員会構成員は大阪ウェディングアンドブライダル専門学校と企業関係者等の役職者から成るものとし、審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。

【教育課程編成の基本方針決め・前年の問題点抽出】

企業関係者等の外部委員より、専攻分野に関した動向や新たに必要となる人材スキル等の業界の実情をヒアリングし、委員会で協議をし、次年度の教育課程編成の基本方針を決める。

さらに、前年度の問題点をピックアップし、企業関係者等の外部委員からの見識のある改善意見も集約する。

↓

【教育課程編成の科目詳細決め】

委員会構成員の中の大阪ウェディングアンドブライダル専門学校教員によって、各科目の詳細を決定し、また、集約した改善意見も教育課程に反映させ、次年度の教育課程の仮案を完成させる。

↓

【WB委員会(各ブライダル専門学校代表教員による分野会議)にて教育課程編成の決定】

委員会構成員の中の大阪ウェディングアンドブライダル専門学校教員による教育課程の仮案に基づいて、再度、WB委員会で協議をし、次年度の教育課程を決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年8月3日現在

名前	所属	任期	種別
岡 昌治	一般社団法人 日本ソムリエ協会	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	①
下仲 翔介	ベルクラシック空港	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	③
田中 和彦	JOB SHOP 合同会社	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	③
小原 義之	全米ブライダルコンサルタント協会	平成29年1月1日～平成30年12月31日(2年)	①
岡本 えみ	有限会社アブローズウェディング・OFE	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
森崎 成騎	JOB SHOP 合同会社	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（6月、2月、8月）

(開催日時(実績))

第1回 平成30年6月15日 16:00～17:00

第2回 平成30年2月16日 16:00～17:00

第3回 平成30年8月3日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

カリキュラムにおいて

⇒晩婚化により新郎新婦の平均年齢が30歳前後と年齢が高いため、年上の新郎新婦を想定した実践プログラムの要望があった。普段からの言葉遣いや所作の指導を再徹底するとともに、カリキュラム化できるかを検討する。

⇒学校行事である、本物結婚式にご協力いただいている委員から参加している生徒の温度差を感じるとの指摘を受けた。次年度からは参加生徒全員に明確な課題を与え、当日までの準備期間を3か月から6か月と長く設定し、生徒の意識を高める内容に変更予定である。

現場インターンシップについて

⇒即戦力を育成するためには現場での学びが重要。現状週1日のインターンを1年間実施しているが現場での学び日数を増やした方がより即戦力育成できるのではといったご意見を頂いた。学内の学びだけでなく現場に触れる機会を増やすことが出来るかを検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基本方針として、「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎新婦だけではなく、その家族、その人生もしわ背にできるNo.1のコーディネーターを育成する」という本校人材育成方針のもとブライダル業界等との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実践していくこと。

ブライダル業界においては、知識と接客力が重要であるということ是不変のものであり、双方を兼ね備えることで長く業界で活躍することができ、業界の発展にも繋がっていく。そこから本校教育理念である「技能(知識・技術・理論)」と「心(人間教育・対人基礎力)」の調和をもとに授業計画から本校教員も参加し、「技術・理論の習得レベル」及び「マナー」「コミュニケーション」など現場に即した内容を検討、そして、定期的に授業の振り返りを行い、継続的かつ改善工夫を実施している。

企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対しての対応及び教育への反映ができ、本校そして業界が求める「人財の育成」に貢献できると考える。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目「花嫁着付Ⅰ」「花嫁着付Ⅱ」の授業を1年次、2年次それぞれ年間をと通して実施。ブライダル業界において企業の方より、実践力を想定し、日本古来より婚礼に欠かせない「着物」に関する知識・技術を習得。そして授業を通してブライダル業(サービス業)に欠かせない挨拶・マナー・言葉づかいなどの礼節並びに振る舞い・行動など所作を身につける。定期的に授業内での内容・実技試験などを含め、振り返りを実施し、企業様からの評価を成績評価に反映させる。また、定期的に授業シラバスや1年間の流れ・生徒の様子を共有し、改善点等協議している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
花嫁着付Ⅰ	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。	株式会社K・Wプロジェクト
花嫁着付Ⅱ	日本における美容文化である着付けの技術を学ぶことで卒業後の仕事の幅が広がり、活躍の場も増える。授業では技術はもとより礼節や所作などを現場の方から毎週継続して学ぶことで、接客スキルを向上させる。日本の美容文化への意識及び技術習得の必要性を認識し、向上心を養う。	株式会社K・Wプロジェクト

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の保育業界・教育業界を担う「皆から信頼・感謝され、こどもの未来を育む人材」を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、以下のとおり教員研修の環境を整える。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
 - ・指導力の修得・向上のための研修
 - ・(株)アクティブラーニング社と提携したアクティブラーニングの手法を取り入れた教育方法の研修
- なお、当該研修等を計画的に教員に受講させるにあたり諸規定に定められている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「今後のウェディング業界について」(連携企業等:リクルートブライダル総研 所長 鈴木直樹様)

期間:平成29年8月23日(水) 対象:全担任11名

内容:ウェディング業界の動向・ウェディング業界に求められる人材について・現状と課題について深掘してご教授いただく。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「クラス運営のコツをつかむ」(連携企業等:株式会社アビリティートレーニング 代表取締役社長 木下晴弘様)

期間:平成30年3月27日(火) 対象:全教員50名

内容:目標、目的、源泉などのキーワードからクラス運営や授業を円滑に行うための法則をわかりやすくご教授いただく。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「最新ブライダルヘアメイク」(連携企業等:株式会社デコルテ 美容部マネージャー松野安希子)

期間:平成30年8月27日(月) 対象:ヘアメイク教員10名

内容:ブライダルヘアメイクのトレンドやヘアメイクの最新テクニックをご教授いただく。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「「クラス運営のコツをつかむ 続編」(連携企業等:株式会社アビリティートレーニング 代表取締役社長 木下晴弘様)

期間:平成31年3月20日(水) 対象:全教員50名

内容:前年度実施内容をより深掘した内容で生徒への教務力向上のプログラムを実施していただく予定。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、ブライダル業界の企業様や卒業生・地域団体住民・高校関係者等と共に、学校関係者評価委員会を設置して、当該専門分野における実務に関する知見を活かして、教育目標や教育環境等について評価し、その結果を次年度の教育活動及び学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「私立専門学校等評価研究機構 専門学校等評価基準」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。また、評価結果は学校のホームページで公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

(3) 教育活動

<意見> 教員のスキルや知識の研修を充実させると良い。出来る限り企業もトレンドを支援してく。
 <活用状況> ヘアメイク企業の美容部マネージャーからのスキル研修を実施。今後も教科ごとで企業から現場のトレンドやスキル向上を目的とした研修を実施し、教員のレベルアップを目指す。

(4) 学修成果

<意見> 卒業生への再就職支援を強化することで卒業生は心強いし、卒業生の企業定着を把握することも出来る。
 <活用状況> 卒業生の就職先への定着の把握や就業支援を整備し、卒業生支援を強化する。

(5) 学生支援

<意見> 在校生への支援はもちろん、同窓会やホームカミングデイなどを設定し、卒業生が集まりやすい学校になることを期待する。
 <活用状況> 本年、初めて学校主催の同窓会を開催。今後は毎年継続して卒業生が集まりやすい学校を目指す。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年6月20日現在

名前	所属	任期	種別
楠本 圭子	株式会社オータニコーポレーション	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
土井 新葉	株式会社オータニコーポレーション	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	卒業生
森崎 成騎	JOB SHOP 合同会社	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	企業等委員
堀江 大志	飛鳥未来高校	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	高校関係者
野村 英司	有限会社パル法円坂	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: <http://www.sanko.ac.jp/osaka-bridal/>

公表時期: 2018年9月5日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則って情報提供を実施することで、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげることを。

また、入学希望者やその保護者に対し、進路選択にあたっての有用な情報を提供すると共に、一人一人の能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。そして、キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習、就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	●三幸学園について(事業案内、経営理念、歴史)
(2) 各学科等の教育	●三幸学園の教育 ■学科・専攻紹介 ●資格・就職
(3) 教職員	●講師紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	●学内店舗実習 ●インターンシップ
(5) 様々な教育活動・教育環境	●施設紹介 ●特別ゼミ ●企業・地域コラボレーション
(6) 学生の生活支援	●サポートシステム ●学生寮・一人暮らし
(7) 学生納付金・修学支援	●募集学科・学費 ●学費サポート制度
(8) 学校の財務	●監事監査報告書 ●資金収支計算書 ●消費支出計算書 ■賃借
(9) 学校評価	●自己点検自己評価・学校関係者評価委員報告書
(10) 国際連携の状況	0
(11) その他	0

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.sanko.ac.jp/disclosure/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ブライダルヘアメイクアンドドレス学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ブライダル知識Ⅰ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指します。	1年	33	2	○			○	○			
○			ブライダル知識Ⅱ	新規接客・アンケート記入・質問・顧客心理・館内案内・敬語等、設定した客層への対応方法を学びます。	2年	50	3	○			○	○			
○			パーソナルカラー	ファッションコーディネートの現場で即戦力となるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。	1年	33	2	○			○		○		
○			ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年	33	2	○			○		○		
○			ベーシックメイク	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイクの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメイクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1年	99	6	△	○		○		○		
○			ブライダルプロジェクトⅠ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	1年	66	4	○	△		○		○		
○			ブライダルプロジェクトⅡ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	2年	66	4	○	△		○		○		
○			ブライダルヘアアレンジ	一束やピンニング、ホットカーラーや編み込み等ヘアアレンジの基礎からベーシックなアップスタイルを学ぶ。	1年前期	48	3	△	○		○		○		
○			ブライダルネイルⅠ	JNECネイリスト技能検定3・2級級取得を目指し、基礎的なネイルケア～カラーリング・アートや簡単な付け爪(チップラップ)まで学ぶ。	1年	82	5	△	○		○		○		
合計						37科目	2207単位時間(131単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【履修方法】 ●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト(実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施)の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。 【進級・卒業要件】 ●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	前期16週 後期17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（文化教養専門課程ブライダルヘアメイクアンドドレス学科）平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダルネイルⅡ	1年次に学んだネイルアートⅠの技術向上とジェル検定初級取得を目指す。またブライダルネイルで使えるアートなどの技術を学び作品制作を行う	2年	66	4	△	○		○	○			
○			未来デザインプログラム	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年	33	2	○			○	○			
○			フラワーアレンジ	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ。	1年	48	3	○	△		○	○			
○			ドレスデザイン	『認定ドレスコーディネーター』検定の取得を目標にドレススタイリストに必要な技術・知識を学ぶ	1年	66	4	○	△		○	○			
○			マーケティング	ブライダル業界の動向とお客様ニーズを研究・発表する。	1年前期	16	1	○			○	○			
○			花嫁着付Ⅰ	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ	1年	99	6	△	○		○		○	○	
○			花嫁着付Ⅱ	一般的な着付とは違い、特殊な婚礼和装の着付を学び、婚礼和装の帯など名称も学ぶ 花嫁着付けⅠより、高度な技術を学ぶ	2年	99	6	△	○		○		○	○	
○			アテンダー実践	結婚式当日、新婦様の一番近くでお世話をするアテンダーの知識を学ぶ授業。ドレスのトレーンの持ち方・ブーケの持ち方など新婦様を常に美しく見せる見せ方を学ぶ	1年前期	32	2	○	△		○		○		
○			ブライダルエステ	ブライダルエステの基礎知識・技術を習得する ・フェイシャル、ボディ技術理論 ・フェイシャルケア・ボディケア	2年	66	4	△	○		○		○		
合計						37科目	2207単位時間(131単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【履修方法】 ●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。 【進級・卒業要件】 ●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	前期16週 後期17週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（文化教養専門課程ブライダルヘアメイクアンドドレス学科）平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダル実務Ⅰ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の理解を深め、接客の基本姿勢・実践力・応用力を学ぶ。	1年後期	64	4	△		○		○	○		
○			ブライダル実務Ⅱ	現場での実習勤務を通して、お客様を迎えるまでの準備や施術中の理解を深め、接客の基本姿勢・実践力・応用力を学ぶ。	2年	98	6	△		○		○	○		
○			施設実習	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく	2年後期	80	2			○		○			
	○		ブライダルヘアアレンジⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクをデザインし相モデルで行うなど幅広いアレンジを学ぶ。	1年後期	51	3	△	○			○		○	
	○		ブライダルメイクⅠ	アドヴァンス検定、スキンケア、トラブルメイク、チェンジ（タイムアップ含む）	1年後期	51	3	△	○			○		○	
	○		ドレスフィッティング	ドレスの着せ方・ドレスショップでの新規接客の方法を学び、即戦力を身につける	1年後期	34	2	△	○			○		○	
	○		ドレスソーイング&メンテナンスⅠ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなどドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ	1年後期	34	2	△	○			○		○	
	○		ブライダルヘアメイクⅠ	基本的な道具の使い方を学び、ヘアアレンジの基礎～花嫁洋装スタイルのクラシカルスタイルを学ぶ。	1年後期	34	2	△	○			○		○	
	○		ブライダルヘアアレンジⅢ	ブライダルのクイックチェンジやお色直しの際に行う様々なヘアチェンジに対応出来る様に相モデルでより実践的に学ぶ。	2年	99	6	△	○			○		○	
合計				37科目		2207単位時間(131単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>【履修方法】</p> <p>●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。</p> <p>【進級・卒業要件】</p> <p>●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	前期16週 後期17週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（文化教養専門課程ブライダルヘアメイクアンドドレス学科）平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ブライダルメイク & フォト	アドバンス検定対策と撮影用メイクを学び、カメラのファインダーを通した、メイクの仕上がりを学びます。	2年	99	6	△	○		○	○			
	○		洋装・和装メイク	洋装・和装の花嫁メイクの基礎から応用、列席者のメイクやボディージュエリーなどの流行まで取り入れた結婚式の幅広いメイクを学びます。	2年	99	6	△	○		○	○			
	○		ドレススタイリング	ドレスのデザインや装飾などを理解し、的確なフィッティングやドレスに合ったヘアメイクなどのスタイリングを考える授業	2年	66	4	△	○		○		○		
	○		ドレスコーディネート	ドレススタイリストに必要な知識を活用して、着る人の体型やTPOに合わせたコーディネートを考える授業	2年	66	4	△	○		○		○		
	○		ドレスコーディング & メンテナンスⅡ	ドレスのお直し・タキシードの裾上げなどドレススタイリストの裏側の仕事を学ぶ	2年	66	4	△	○		○		○		
	○		ブライダルヘアメイクⅡ	和装や洋装、年代に合わせたヘアメイクなど、幅広いアレンジを学びます。	2年	66	4	△	○		○		○		
	○		ブライダルメイクⅡ	検定対策、お色直し、メンズトータルコーディネート、列席者ヘアメイクなど、式に関わるトータルヘアメイクを学びます。	2年	99	6	△	○		○		○		
	○		ビジネスメール演習	社会人として必要なメール文章に関するマナーを学び、シーンに応じた正しい言葉遣いを身につけます。	2年	66	4	△	○		○		○		
			ホームルーム	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。	1年			○			○		○		
合計						37科目	2207単位時間(131単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>【履修方法】</p> <p>●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。</p> <p>【進級・卒業要件】</p> <p>●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	前期16週 後期17週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ブライダルヘアメイクアンドドレス学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
			ホームルーム	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う。	2年			○			○		○		
合計						37科目	2207単位時間(131単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>【履修方法】</p> <p>●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。</p> <p>【進級・卒業要件】</p> <p>●授業科目の履修を終了した者には、認定のうえ単位を与える。単位の認定については、各科目における試験及び演習・実習の評価によるものとする。単位制学科の卒業認定に必要な単位数は62単位とする。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	前期16週 後期17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。